

# 米軍感染数 非公表に

## 新型コロナ

在日米軍司令部は16日まで、基地内の軍人・軍属らの新型コロナウイルス陽性者数を非公表とする方針を変えました。昨年末、米軍基地由来のオミクロン株が日本国内の感染第6波の一因になりましたが、基地内の感染動向が隠蔽（いんぺい）される危険があります。

同司令部は従来、国内の主要基地じゅうに陽性者数を公表。おむね1週間ごとに更新していましたが、8日時点で、重症者と入院者数のみが公表されています。また、米海軍横須賀基

地も15日、今後は死者と入院者のみを公表する方針を明らかにしました。その理由について、「在日米軍兵士の98%がワクチン接種を済ませ、ファースター接種も続いている」と説明。その上で、「すべての基地は、コロナ感染に伴う死者と入院者数のみ公表する」としています。

同時に、地元保健当局への陽性者数の通報は、日本自憲に基づき従来通り続けられています。多くの米軍基地を抱える沖縄県や岩国市は従来通り米軍人・軍属の陽性者数を公表しており、行政側の対応も問われます。

## 沖縄県と岩国市は継続